

特集：平成19年度

施政方針

中川市長は、平成19年3月市議会定例会の開会（3月1日）にあたり、施政に対する所信を次のように述べました。

序章

本年は改革マニフェスト実行の年です。新年度では、40周年記念事業もいくつか計画しています。

「全国に誇れる魅力ある加西市の創造」を市政の基本理念として、美しい自然環境や豊かな歴史遺産など、加西の素晴らしい地域資源と立地条件を最大限に生かして、若者が夢を持ち、高齢者は生き甲斐を持って元気で長生きできる地域づくりに取り組みます。

次世代向け施策の充実と少子化対策の推進

・市内の民間賃貸住宅に入居される新婚家庭に、今年度から3か年を目途に家賃補助などを実施します。

・子育て家庭を地域で支えるファミリーサポート事業、女性の就労支援、子育て広場の開設、子育てに関する市民活動の支援等を実施します。

・地域ぐるみで子育てを支援する体制づくり、家庭と仕事の両立や休業後の復帰、女性の再就業を支援します。

・乳幼児等医療費の無料対象を3歳未満から小学校3年生まで拡充し、児童手当は新たに3歳未満の第1子と第2子に対し、現行の5千円を1万円に引き上げます。

・保育終了後の預かり保育に加え、夏季休業中の預かり保育を試行的に実施します。

・小学校における学童保育と放課後子ども教室を柔軟に受け入れるとともに、将来を見据えた幼児園構想を推進します。



特色ある学校教育と青少年の健全育成

・小学校の「スクールアシスタント」を拡充、中学校では「ヤングアドバイザー」の活用を図ります。

・いじめ問題など心のケアを必要とする子どもたちに適切に対応するため、各種関係機関との連携を一層強化します。

・学校給食については、（仮称）総合調理センターの設立に向けてPFIなどの手法による施設整備と運営について、その是非を判断するための調査を実施します。

・ワッショイ・スクールの推進、防犯訓練などにより、子どもたちの安全確保に努めます。特に、児童生徒の下校時における不審者対策として「子ども110番的車」でパトロールを行い、学校、保護者、地域の大人たちの密接な連携による「地域子ども見守り隊」、「根日女ハート・ブリッジ運動」等を展開します。

・図書館は、地域交流センターなどと連携しながら、情報発信、生涯教育の拠点として、サービスの充実を図ります。

・玉丘史跡公園での体験学習を実施し、ふるさとの歴史への関心と

理解を深め、文化財の保護と伝統文化の継承にも積極的に取り組みます。

・老朽化の著しい学校教育施設等については、早期に建替えに着手できるよう耐震診断の結果をもとに、児童・生徒数の動向をも見極めながら、将来像を示します。

市民が健康で長生きできる生涯現役都市



・市立加西病院は、地域の中核の医療機関として、患者の視点に立って医療のより一層の質向上を図るため、医療スタッフの確保、医療機器の更新・充実、病院経営の効率化などに取り組んでいきます。また、脳ドック、レディース検診等を新たに加え、人間ドッグの受入れの増加を図ります。

・生活習慣病予防に重点を置いた保健事業への取組み、国民健康保険事業の安定的な運営、介護予防及び生活支援事業の実施、また地域包括支援センターにおける包括的支援を進める一方、老人クラブの活動や高齢者いきがい支援事業を通じて「生涯現役都市」を目指します。

・障害のある方が、自立した生活ができるよう、市の特性に応じた地域生活支援事業を推進します。